

2023-24年度 朝岡会長テーマ -みんな 楽しく 仲良く そして未来へ-
第 3130 回例会 令和 6 年 1 月 30 日(火) 天気:晴 No.22

2023-24年度
RIテーマ



世界に希望を生み出そう



会長 / 朝岡 正 幹事 / 松田茂治

クラブ会報委員 金原健志 / 本田正則 / 大内基浩 / 宍戸秀隆

例会日:火曜日 12:30 例会場:西尾コンベンションホール

事務局:西尾市永楽町 3-45 西尾信用金庫中央支店内 204

TEL:0563-54-7770 FAX:0563-54-7050 URL:<https://www.nishio-rotary.org>

【本日のプログラム】

司 会 杉田武男例会運営委員長

斉 唱 「奉仕の理想」

食 事 きく寿司

スピーカー 地区米山奨学委員会 委員長 大橋 均 君 (知立RC)

「米山記念事業をご理解ください」



【会長挨拶】



能登半島の地震から1ヵ月経ちましたが、まだまだ復興が進まずに大変な思いをされている方が大勢いて心配です。国会が始まりました。政治とカネの話は茶番のように感じました。豊田自動織機の問題が報道されました。8車種程のディーゼル関係が生産停止ということで、この地区にも影響がありそうで心配です。

現在9000個ほどの人工衛星程飛んでいます。アメリカのスペースXは、ブースターを再利用しているため、打ち上げコストが非常に安く、去年は96回打ち上げています。ロケットの世界シェアは45%で、ブースターの最高再利用回数は19回です。日本の月面探査機SLIMが月面着陸に成功しました。映像はソラキューというボールのような小さいロボットが撮影しています。月には水があることが分っていて、月へ行く競争が非常に激しくなっています。SLIMは長さ2.4m、幅1.7m、重さ210kgで、ソラキューは200g程だそうです。探査機に付いている太陽光パネルはシャープ製で、探査機を作ったのは三菱だそうです。

MYロータリーの登録をお願いします。携帯があれば、メールアドレスとIDで登録できます。IDが分からない方もいると思うので、1度事務局から渡してもらおうとも考えています。

手順さえ間違えなければ簡単に登録できます。また改めてまとめたら皆さんにお願いしていきたいと思っているので、よろしくお願いします。

【委員会報告】

〈出席委員会〉本多 淳委員長

本日の出席数 61名

欠席数 10名

出席率 85.92%

〈スマイルボックス委員会〉坂田吉郎副委員長

大橋 均君 本日は例会の貴重なお時間を頂き有難うございます。宜しくお願いします。

朝岡 正君 大橋均米山奨学委員長ようこそ西尾ロータリーへ。卓話よろしくお祈いします。

松田茂治君 大橋均米山奨学委員長様ようこそ西尾ロータリーへ。卓話よろしくお祈い致します。

田中正規君 地区米山奨学委員長 大橋均君、西尾RCに卓話ありがとうございます。

永江義澄君 米山奨学委員会 大橋委員長ようこそ西尾ロータリークラブへご来場いただき有難うございます。本日は宜しくお願い致します。

山崎周彌君 西尾マラソンの完走率95%に満足。

犬塚宣明君 能登半島地震で1月1日から水道管を緊急出荷していますが、内情はまだまだ工事に至ってない事も多いです。一刻も早い復興を祈るばかりです。

稲垣良次君 新しい物の応援購入サービスMakuakeでイナテック利他工場の「つけペン」がデビューしました。皆さん宜しくお願いします。

伊藤富義君 一昨年3月の小生の誕生日にコロナ後には大インフレが訪れるので防護策として大好業績で世界情勢と国策に沿った三菱重工株の購入をお勧めしました。そのとき、必ず2年後には今の2倍強の1万円には行くと宣言しました。今週木曜日には突破するでしょう。次にお勧めする株がありますが、書ききれませんので直接お聞き下さい。

柴田高広君 長男の嫁の母が「書」で2度目の日展入選をしました。ご興味がありましたらご覧下さい。私には文化的素養はありませんが、他人事ながら嬉しかったので。

本田正則君 先週5日程、蓼科へ一人旅。雪中行を3回行いました。

【卓話】

地区米山奨学委員会 委員長 大橋 均 君（知立RC） 「米山記念事業をご理解ください」

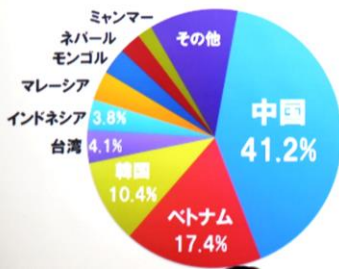


2023年度は900人の奨学生のお世話をしています。大学院生は月14万円、学部生は月10万円の奨学金を支給しています。約55年で累計23,509名の奨学生を輩出しています。2760地区では2023年度52名の奨学生がいます。4月から32名の新規の奨学生が参ります。学生の採用

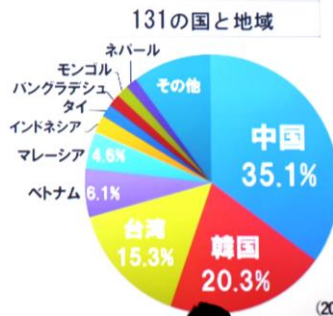
の1年の流れは、毎年4月に全国・全大学にアンケートを送って奨学生に該当する学生の人数を確認し、各地区の大学の該当者のリストが委員会に回ってきます。そのリストを見ながら該当者がいれば各大学に奨学生の枠を連絡しています。新規の奨学生の人数を確認して応募条件枠を設け、8月から応募が始まります。学内選考等を受け、面接を行います。今年は1月第1週の土曜日に行いました。

国内最大級の奨学生数

2023
学年度 **900人**
新規649人/継続251人



累計 **23,509人**



(2023年7月現在)

世話になりました。本当にありがとうございます。選考基準は全国统一で、将来の目標・留学の目的がしっかりしているか、交流への熱意があるか、そして人間性とコミュニケーション能力で点数をつけています。

寄付について昨年度の実績は、当地区の個人平均寄付額が1万5032円、全国平均は1万6960円でした。寄付いただいたお金は、奨学金とクラブの補助費、委員会の活動費で使っています。昨年度の特別寄付者の割合は全国47.3%に対して、当地区は32%で全34地区中25位でした。表彰制度では3万円から米山功労者になりますので、是非寄付をお願いします。2018年より、個人で500万円、団体・企業で1000万円の寄付をいただくと紺綬褒章の対象になります。大変な金額になりますが分割も可能です。書類を1枚出していただくと、累計で500万円になると紺綬褒章となりますので、よろしくをお願いします。3月に確定申告をしていただくと、税金控除になります。

奨学生は1年間または2年間が終わると学友会に所属することになります。愛知ロータリー学友会ができました。5月にRFFで認証式を行います。奨学生は4月のオリエンテーションから始まり、春の企業研修、秋の歴史研修、クリスマス会や忘年会、3月の終業式を迎えます。わずか1年、2年の付き合いの中で、彼らが母国へ帰っても日本との関わりをいかに取れるか、お世話いただいたロータリー会員の方とどう繋がっていくかが本当に大事なことだと思っています。彼らも短い期間の中でたくさん成長してくれますし、私たちが世話していく中で宗教、歴史、食生活等々を学ぶことができます。奨学生の成長を見るのも私たちの楽しみです。機会がありましたら奨学生のお世話をお願いしたいです。特別寄付の人数も少しでも増やしたいです。全国一の人数を誇る2760地区ですので、1%でも大きな人数になります。ご理解いただきまして、よろしくお願

“ 米山奨学金 と 奨学生 ”

